

生産・保全現場の困りごと・課題に挑んだ改善事例が集結！

改善事例発表大会2025

関東地域

2025年6月25日(水)開催 曳舟文化センター

改良保全

予防保全
・
予知保全

設備の信頼性向上

人財育成

品質安定化
・
向上

現場最前線の改善事例から あなたの現場の改善ヒントに！
予防保全、人財育成 や 改良保全、品質安定化・向上など
これからの時代を担うモノづくり現場力を育むチャンス！！

発表会場：曳舟文化センター ホール

発表企業

※ 企業名50音順、法人格略

旭化成

JFEスチール

ジャトコ

SUBARU

日産自動車

日本製鉄

レゾナック

発表数：7社10事例



事例発表大会
関東地域

今年度も、好評の“発表者との交流会”を開催！
質疑応答では聞けない詳しい情報交換（苦労話や失敗談も）ができます！
地域の企業間交流の活性化にも繋がりますので、ぜひご活用ください



イベントの詳細・お申込みは、

改善事例発表大会 公式サイト

<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>



全国設備管理強調月間とは？

経営者層をはじめ全従業員の設備管理への意識を高め、設備管理の重要性を広く認識いただくことで、産業界の生産性向上のみならず環境保全や事故、災害防止に寄与することを目的としています

時間		発表情報	
9:30▶		開場・受付開始	
10:00▶10:10		開会のあいさつ	
事例1	10:10 ▼ 10:30	工務・保全 排気ガス分析計の故障低減に向けた取り組み ～TPMを通じた意識改革～ 日産自動車株式会社 横浜工場 品質技術開発部 企画グループ	平井 猛 <発表キーワード> ・自主保全 ・設備の管理方法・基準の見直し ・人財育成
事例2	10:30 ▼ 10:50	工務・保全 CASE加工ライン エアー漏れによる サーボモーター温度NGの撲滅 ジヤトコ株式会社 八木工場 工務部 保全技術課	古川 剛 <発表キーワード> ・設備の信頼性向上 ・設備の管理方法・基準の見直し ・予防保全・予知保全
事例3	10:50 ▼ 11:10	工務・保全 小径管工場メッキ保湯炉取替方法の改善 日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 鹿島厚板・鋼管・形鋼整備室	小辻 明人 <発表キーワード> ・作業の効率化・容易化
11:10▶11:20		休憩	
事例4	11:20 ▼ 11:40	工務・保全 オーバーヘッドコンベアレール自動測定による 安全性の向上と工数低減への取り組み 株式会社SUBARU 群馬製作所 第二製造部 第二保全課	山田 峻雅 <発表キーワード> ・安全 ・改良保全 ・作業の効率化・容易化
事例5	11:40 ▼ 12:00	運転・製造 G N a 反応系 生産レンジ維持 株式会社レゾナック 川崎事業所 千鳥製造部 AG課 主任	酒井 功司 <発表キーワード> ・コストダウン ・安全 ・作業の効率化・容易化
事例6	12:00 ▼ 12:20	工務・保全 トラックドライバーの横浜工場内滞在時間削減 ～みんなで解決！物流2024年問題～ 日産自動車株式会社 横浜工場 工務部 生産課	山口 莉緒 <発表キーワード> ・コストダウン
12:20▶13:30		昼休憩(昼食のご提供はございません)	
事例7	13:30 ▼ 13:50	運転・製造 排ガス触媒酸化装置効率化 旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造所 アクリル樹脂製造部 PMMA製造課 重合係	林田 友一 <発表キーワード> ・設備の管理方法・基準の見直し ・コストダウン ・環境・省エネルギー
事例8	13:50 ▼ 14:10	工務・保全 アルミ給湯機湯量変動対策による品質安定化 ジヤトコ株式会社 素形材工場 工務部 保全技術課	大嶽 佑騎 <発表キーワード> ・設備の信頼性向上 ・品質安定化・向上 ・改良保全
14:10▶14:20		休憩	
事例9	14:20 ▼ 14:40	運転・製造 PDCライン設備故障強度率の低減 ～自主保全力の向上を目指して～ 日産自動車株式会社 横浜工場 第一製造部アクスル・電動パワートレイン課	伊藤 頻希 <発表キーワード> ・自主保全 ・人財育成 ・予防保全・予知保全
事例10	14:40 ▼ 15:00	工務・保全 止めるなハイスタポンプ トラブル現象見える化で補修費削減 JFEスチール株式会社 東日本製鉄所千葉地 千葉冷延設備室	村越 和明 <発表キーワード> ・自主保全 ・コストダウン
15:00▶15:10		休憩・ご移動	
15:10▶16:00		発表者との交流会	
16:00▶16:15		全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介	
16:15▶16:30		表彰式	

※ 2025年4月末現在の情報です。プログラム・発表情報は変更となる場合がございます。最新版は、改善事例発表大会公式サイトをご参照ください

<p>事例1</p>	<p>排気ガス分析計の故障低減に向けた取り組み ～TPMを通じた意識改革～</p> <p>日産自動車株式会社 横浜工場 品質技術開発部 企画グループ 平井 猛</p> <p>自職場には23種類/86設備があるが、中でも、故障の多い排気ガス分析計の故障低減に取り組んだ。分析計の故障は、業務への影響も大きい為、TPM活動を通して故障の撲滅を目指すとともに、メンバーの意識改革や人材育成に繋げた事例を発表する</p>	<p>事例6</p>	<p>トラックドライバーの横浜工場内滞在時間削減 ～みんなで解決！物流2024年問題～</p> <p>日産自動車株式会社 横浜工場 工務部 生産課 山口 莉緒</p> <p>昨年、日本の物流業界を騒がせた2024年問題。我がサークルもその影響は大きく、様々な問題が浮き彫りになった。今回はその中でも法令にも係る、工場内滞在時間の削減に取り組んだ。 どのようにしてトラックの滞在時間を削減したのか、事例を発表する</p>
<p>事例2</p>	<p>CASE加工ライン エアー漏れによる サーボモーター温度NGの撲滅</p> <p>ジヤトコ株式会社 八木工場 工務部 保全技術課 古川 剛</p> <p>私たちの職場ではDXを使い設備の状態監視を行うことで故障の未然防止を行っている。今回の活動はそのDXによる状態監視からみつけた不具合の根本原因を追求して対策まで進められた。さらには新たな状態監視に結び付けられた改善事例を発表する</p>	<p>事例7</p>	<p>排ガス触媒酸化装置効率化</p> <p>旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造所 アクリル樹脂製造部 林田 友一 PMMA製造課 重合係</p> <p>持続可能な未来を実現する為に、効率の悪い機器はないか。そして、それを改善できないか。 最適化が進んでいる現代に対して、運転員の知恵と努力で見事に大きな成果を出した事例を発表する</p>
<p>事例3</p>	<p>小径管工場メッキ保湯炉取替方法の改善</p> <p>日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 鹿島厚板・鋼管・形鋼整備室 小辻 明人</p> <p>日本製鉄株式会社東日本製鉄所鹿島地区の小径管工場におけるメッキ保湯炉取替工法の改善についての発表。取替工事で発生した問題を解決するための具体的な対策とその効果を発表する</p>	<p>事例8</p>	<p>アルミ給湯機湯量変動対策による 品質安定化</p> <p>ジヤトコ株式会社 素形材工場 工務部 保全技術課 大嶽 佑騎</p> <p>私達は『8の字展開の深化』による「育ち・生まれの良い設備の実現」に向け活動を行っている。今回ロボット式アルミ給湯機の湯量変動で品質不良が発生したため、チームで分析改善を行い源流対策した活動を発表する</p>
<p>事例4</p>	<p>オーバーヘッドコンベアレール自動測定による 安全性の向上と工数低減への取り組み</p> <p>株式会社SUBARU 群馬製作所 山田 峻雅 第二製造部 第二保全課</p> <p>オーバーヘッドコンベアフリーレール自動測定により安全性の向上、生産性の向上、保全点検工数低減を図った内容を発表する</p>	<p>事例9</p>	<p>PDCライン設備故障強度率の低減 ～自主保全力の向上を目指して～</p> <p>日産自動車株式会社 横浜工場 第一製造部アクスル・ 電動パワートレイン課 伊藤 頻希</p> <p>ベテラン作業者の退社に伴い、自主保全力が低下し現場で発生している設備故障の対応は保全員任せ状態となっていた。今までは製造で対応できていた故障も保全員任せとなった為、故障時間も増加。 自主保全力を向上させ設備故障強度率を低減させるべく取り組んだ事例を発表する</p>
<p>事例5</p>	<p>G N a 反応系 生産レングス維持</p> <p>株式会社レゾナック 川崎事業所 酒井 功司 千鳥製造部 AG課 主任</p> <p>反応系高稼働の影響と思われるコンデンサーでの重合物生成が増加傾向となり、反応器圧力の上昇で計画運転期間が維持できなくなった。 要因分析を行い恒久対策を模索する一方、計画生産を維持するために喫緊の対策が必要となり対策に取り組んだ事例を発表する</p>	<p>事例10</p>	<p>止めるなハイスタポンプ トラブル現象見える化で補修費削減</p> <p>JFEスチール株式会社 東日本製鉄所千葉地 千葉冷延 村越 和明 設備室</p> <p>JFEスチール構造改革に伴い、かつての様にコストを掛けられないさなか、調質圧延ラインの心臓部であるロール潤滑油ポンプに不具合が生じ、操業不能の危機に直面。特殊で高価なポンプである為代品がなく、途方に暮れていた時、安価に現象を見える化できる方法を発見し得られたデータをトコト解析することによって不具合の原因にスマートにたどり着く事ができた。Gr全員参加の活動で課題達成することができた事例を発表する</p>

改善事例発表大会2025は、全国7地域で開催！！



地域	開催日	会場
東北・北海道	6月20日(金)	多賀城市文化センター
関東	6月25日(水)	曳舟文化センター
北陸	6月11日(水)	富山国際会議場
中部	6月27日(金)	ポートメッセなごや
関西	6月13日(金)	京都テルサ
中国・四国	6月17日(火)	広島県情報プラザ
西日本	6月19日(木)	海峡メッセ下関

各地域の詳細は、改善事例発表大会公式サイトをご覧ください<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>

参加お申込み

改善事例発表大会公式サイト<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>
の“参加お申込み”から



参加料（左：10%税込み価格、右：本体価格）

会員価格 ^{※1}	¥17,600- /名 (¥16,000- /名)
一般価格	¥24,200- /名 (¥22,000- /名)
TPM経営者 懇話会会員価格 ^{※2}	ご招待

- 上記料金は、1会場あたり1名で参加する場合の料金です
- 参加料には、テキスト（資料）代が含まれています
※お弁当のご提供はございません
- ※1 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会（正会員・事業所会員）、もしくは一般社団法人日本能率協会（法人会員・協賛団体会員）の会員であることが必要です
会員ご入会の有無は、下記のWEBサイトにてご確認ください
・公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
<<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>>
・一般社団法人 日本能率協会
<<https://list.jma-member.com/>>
- ※2 TPM経営者懇話会会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM経営者懇話会の会員であることが必要です

会員以外の方は、
この機会にぜひ当会会員へのご入会をご検討ください

参加申込方法・参加料支払方法

- 派遣窓口ご担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、上記のWEBサイトよりお申込みください。FAXでのお申込みはできません
- 複数名でのご参加をご希望の場合も、上記のWEBサイトに一括お申込みが可能です
- 開催日にご持参いただく受付票は、開催日2週間前に参加者のメールアドレスへ送付いたします。メールアドレスを持っていない参加者は、派遣窓口ご担当者のメールアドレスをご登録ください
- お申込みの際は、本紙ならびにお申込みWEBサイトに記載の注意事項の内容をよくご確認のうえお申込みください
- 参加申込みは、開催直前まで受付いたしますが、テキスト（資料）などをご用意できないこともございます。お早めにお申込みください
- 参加料の請求書は、開催日2週間前より派遣窓口ご担当者のメールアドレスへ送付いたします。請求書に記載の入金期日・銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- キャンセル規定
開催当日～7営業日前の参加取消し：参加料全額
※2025年6月18日(水)よりキャンセル不可
※キャンセル・変更の申し出は、以下URLよりお願いいたします
<<https://info-jipm.jp/contact/>>
お問い合わせ> イベント申込み後のお問い合わせ

- 録音・録画・撮影、およびSNSへの投稿は禁止です。守られなかった場合、著作権・肖像権侵害として対処することがございます。また今後の参加をお断りすることがございます
- 免責事項
天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由により大会内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます
- 個人情報に関する取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ（<https://www.jipm.or.jp/>）をご覧ください

お問い合わせ先

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 普及推進部

TEL：0120-451-466（または、03-6865-6081） E-mail：EVENT@jipm.or.jp